

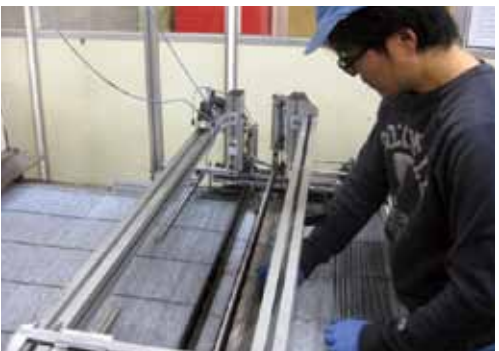
フィルタの総合メーカー 日本を元気にするとう ロマンを求めて

泰光

泰光（相模原市中央区宮下、橋本元博社長、042・773・6161）は、昭和44年に設立、当初は乗用車用のエアフィルタエレメントの製造販売を行っていたが、現在では空調用、自動車用、産業用フィルタを柱とした、フィルタの総合メーカーとして活動している。同社は機能性だけを追い求めるのではなく、地球環境に優しいフィルタづくりにも力を入れており、ISO14001認証を2004年に、ISO9001認証を2008年に取得している。

限られた資源を大切にし、環境負荷物質を排除、あらゆる部材に対しクリーン調達を心掛けており、リサイクルが可能な素材を選定、かつ廃材の発生を考慮、同一素材化・簡素化・着脱化等、お客様に付加価値の高い商品の開発、提供をしている。

さらに、顧客のニーズに合わせてフィルタの製造、大量生産から個別受注まで様々な受注に対応し



茨城工場にある同社独自の濾材（ろざい）を切断する機械



「日本を元気にするために国内でやっていく」と橋本社長

ており、どのよう
な顧客に
対しても
満足して
もらえる
体制を整
えている。

本社と併設の相模原工場では、生産機能の他に技術開発、特殊加工等により、多種多様なフィルタの製造を行っている。1998年に設立した茨城工場では、同社オリジナルの機械も導入されており、短期間でのフィルタの大量生産が可能だ。

同社では、オリジナルの改善活動「タイトピア活動」を行っている。この活動は、社長を含め社員全員による話し合いにより、ムダ、ムラ、ムリを省き、作業の合理化を図ることにより、働きやすい職場にするためのもので、実際にこの活動で生産性が2倍以上に上がった部門もある。社訓には「努力、謙虚、初心、夢（ロマン）」を掲げている。「努力を怠らず、謙虚な姿勢で、初心を忘れず、常に夢（ロマン）を持ち続ける。この姿勢が大切なんだ。海外に工場を造って、安くフィルタを製造することはできるかもしれない。しかし、うちは日本を元気にするために国内でやっていきたい」と橋本社長は力強く話す。同社はこれからも日本の製造業としての誇りを持ち、日本を元気にするというロマンのもと、突き進んでいくだろう。